

## 総合講座「故郷探検」 中島閘門（こうもん） ～水のエレベーターを見学～

令和6年10月9日（水）

総合講座「故郷探検」は、富山県の地理・歴史・観光・産業などについて、生徒が県内の施設を実際に訪問して、学びを深めています。

10月9日（水）午後、生徒27名（1～3年）と教員4名は中島閘門に向かいました。昭和の土木構造物として全国で初めて国の重要文化財に指定された施設で、船の通行につかう“水のエレベーター”が有名です。私たちは、2隻の船が閘室（こうしつ）に入り水位が下がったあと下流に向かう様子などを間近に見学しました。富岩運河かたりべの会の高木氏から閘門の仕組み、曲面護岸、操作室などについて詳しい説明を受け、理解を深めることができました。

### 【生徒の感想】

- ・ 昔の富山を支えていたものが新しくして今も残っていることがすごい。
- ・ 閘門の扉が開く瞬間や、水位が下がる場面など貴重などころを見ることができました。
- ・ こんなことを思いつく人間ってすごいなと思った。今度船に乗りに来たい。
- ・ あまり船に乗ったことがなく、門が開くところを間近に見ることができてよかったです。



↑水位が下がるとともに船も下がっていく



↑閘門の操作室で説明を聞く



ガイドさんとともに記念撮影  
（後方左が操作室）